

顧客要請あり企業向け 質問書説明（気候変動質問書）

2023年5月

サプライチェーンモジュールの各質問

サプライチェーン モジュール (SC質問)

気候変動サプライチェーンモジュール(SC)	
SC0	イントロダクション 企業概要、年間売上
SC1	排出量のアロケーション(割り当て) 対象顧客関連排出量割り当て、今後の対応計画、等
SC2	協働の機会 CDPサプライチェーンメンバー企業との協働取組、等
SC4	製品ごとの個別データ 製品・サービス単位のデータ提供、ライフサイクル 排出量データ、製品ベースの削減推進活動、等

(SC3は欠番)

SC0 イン트로ダクション

SC0.0	貴社について説明してください。(SC回答として必要な場合)
SC0.1	報告期間(年)における貴社の年間売り上げはいくらですか。

サプライチェーンモジュールの回答内容は、
依頼した企業のみが見ることが可能です。

・顧客と関係のあるデータ、情報の回答や、
製品ごとの排出量関連データの情報提供を
行うための設問になります。

・本モジュールは採点の対象外です。

・海外からの要請の場合、英語あるいはその
企業で通用する言語で回答いただくことが望
ましいです。
(本体質問と言語が異なっても構いません)

※ 売上額は排出量原単位の一要素と
なり重要な情報です

SC1 排出量の割り当て ▼製品の売上量/額に応じた排出量の割り当て等情報

SC1.1

本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、御社の排出量を以下に記載した顧客に割り当ててください

割り当て：量/額の割合に応じて、全体量から配分して算定すること

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみ回答を閲覧できます

SC1.2

SC1.1の記入にどの公開情報を使用したか、参考文献を示してください

SC1.3

別々の顧客への排出量の割り当ての課題は何ですか、そしてその課題を克服するために何が役立ちますか

SC1.4

今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか

はい



SC1.4a

その能力をどのように開発するかについて記述してください。

いいえ

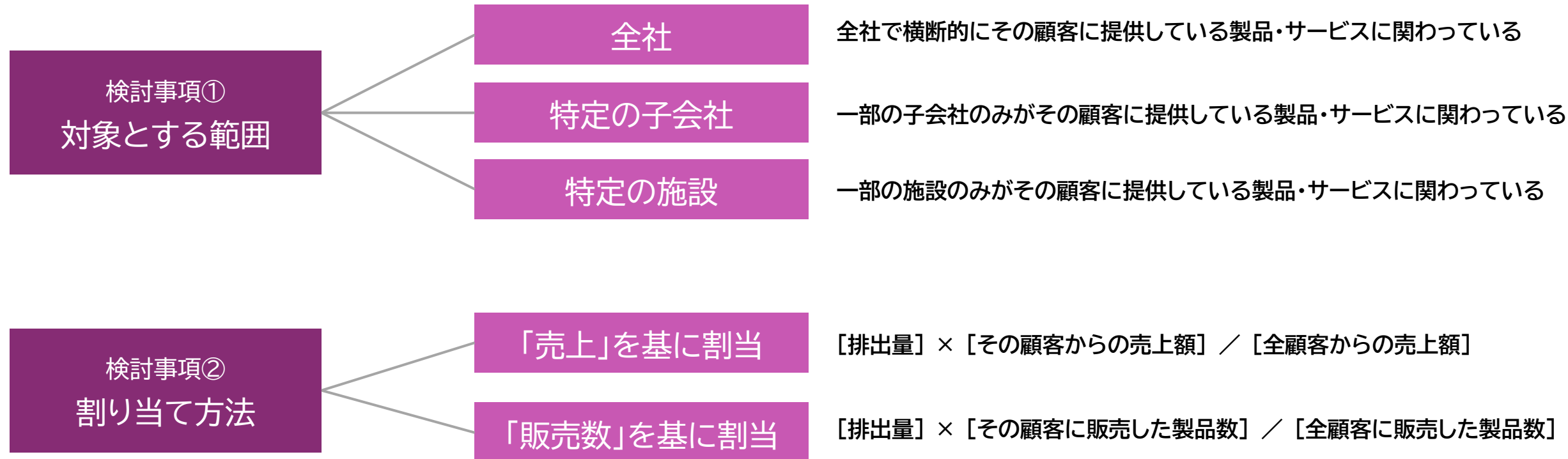


SC1.4b

その能力を開発する計画がない理由について説明してください。

SC1.1 排出量の割り当て

顧客企業への排出量の割り当てには、様々なアプローチがあります



※ こちらは主要な手法を示しており、これ以外の手法が認められないということではございません。

SC1.1 回答欄の説明



要請元との報告年の取引実績に基づくGHG排出量を算出/推計して回答（スコープごと）

(SC1.1) 本報告対象期間に販売した製品またはサービス量に応じて、貴社の排出量を以下に記載した顧客に割り当ててください。

1	2	3	4	5	6	7
回答メンバー	排出のスコープ	スコープ2算定方法	スコープ3カテゴリ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO2換算トン単位の排出量
Select from: [Drop-down menu of requesting members] 対象(要請元)企業名 (選択式)	Select from: - Scope 1 - Scope 2 - Scope 3	Select from: - Location-based - Market-based ・ロケーション基準 ・マーケット基準	Select all that apply: - Category 1: Purchased goods and services - Category 2: Capital goods - Category 3: Fuel-and-energy-related activities (not カテゴリ 1~15	Select from: - Company wide - Business unit (subsidiary company) - Facility - Commodity 対象となる組織範囲	Text field [maximum 500 characters] 左欄にて、 ・事業ユニット（子会社） ・施設 を選択した場合、詳細回答	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] CO2トンの量を回答
8	9	10	11	12	13	14
不確実性	主要排出源	検証有無*	割り当て方法	回答要請メンバーに供給する商品/サービスの市場価値または数量	左記の単位	GHG排出源をどう特定したか、制限事項や仮定を含めて説明してください
Percentage field [enter a percentage from 0-999,999 using a maximum of 4 decimal places] (可能な場合、) 数値の確実性を %幅にて回答 例: (±)15 %	Text field [maximum 2,500 characters] CO2(等)排出に繋がる活動や排出原因の説明	Select from: - Yes - No * 割り当て量／排出量について、第三者検証を受けているか	Select from drop-down options below 割り当て/算定時の考え方	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] 計算根拠となる量/金額	Select from drop-down options below	Text field [maximum 5,000 characters]

- 利用できる一次データあり、割り当ては必要ない
- 二次データを使用、割り当ては必要ない
- 納入した製品の質量に基づいた割り当て など

一次データ：実績等入手し直接把握したデータ
二次データ：国、業界の指定値など代替的に使うデータ

[*企業/カテゴリごとに回答するために、回答行は追加できます]

SC1.1 回答例

スコープ2についての記載例

1	2	3	4	5	6	7
回答メンバー	排出のスコープ	スコープ2算定方法	スコープ3カテゴリ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO2換算トン単位の排出量
Select from: [Drop-down menu of requesting members] A社 (選択式)	Select from: - Scope 1 Scope 2 - Scope 3	Select from: - Location-based Market-based	Select all that apply: - Category 1: Purchased goods and services - Category 2: Capital goods - Category 3: Fuel-and-energy-related activities (not	Select from: - Company wide Business unit (subsidiary company) - Facility - Commodity	Text field [maximum 500 characters] A社向け製品を製造する子会社における排出量を把握し分母とする。	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] 200 (トンCO2)
8	9	10	11	12	13	14
不確実性	主要排出源	検証有無*	割り当て方法	回答要請メンバーに供給する商品/サービスの市場価値または数量	左記の単位	GHG発生源をどう特定したか、制限事項や仮定を含めて説明してください
Percentage field [enter a percentage from 0-999,999 using a maximum of 4 decimal places]	Text field [maximum 2,500 characters] 生産工場の電力消費量	Select from: - Yes No	Select from drop-down options below “納入した製品の質量に基づいた割り当て”	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] 25	Select from drop-down options below トン	Text field [maximum 5,000 characters] 生産工場の2022年度のスコープ2の総量を、A社向けに供給する製品の重量比率で按分して算出しています。

SC1.1 回答例

スコープ3についての記載例

1	2	3	4	5	6	7
回答メンバー	排出のスコープ	スコープ2算定方法	スコープ3カテゴリ	割り当てレベル	割り当てレベルの詳細	CO2換算トン単位の排出量
Select from: [Drop-down menu of requesting members] A社 (選択式)	Select from: - Scope 1 - Scope 2 Scope 3	Select from: - Location-based - Market-based	Select all that apply: Category 1: Purchased goods and services - Category 2: Capital goods - Category 3: Fuel-and-energy-related activities (not	Select from: Company wide - Business unit (subsidiary company) - Facility - Commodity	Text field [maximum 500 characters] —	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] 300 (トンCO2)
8	9	10	11	12	13	14
不確実性	主要排出源	検証有無*	割り当て方法	回答要請メンバーに供給する商品/サービスの市場価値または数量	左記の単位	GHG発生源をどう特定したか、制限事項や仮定を含めて説明してください
Percentage field [enter a percentage from 0-999,999 using a maximum of 4 decimal places]	Text field [maximum 2,500 characters] 調達している原料の上流段階での排出量	Select from: - Yes No	Select from drop-down options below “納入した製品の市場価値に基づいた割り当て”	Numerical field [enter a number from 0-999,999,999,999 using a maximum of 4 decimal places] 30	Select from drop-down options below トン	Text field [maximum 5,000 characters] 自社のスコープ3カテゴリ1のうち、販売金額に応じた割当てにて計算した。

SC2 協働の機会

▼メンバー（要請企業）との協力による排出量削減等の取組み
（該当ある場合）



SC2.1

特定のCDPサプライチェーンメンバーと協力できる
相互に利益のある気候関連プロジェクトを提案してください

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみが回答を閲覧できます

SC2.2

CDPサプライチェーンメンバー による依頼またはイニシアチブによって、あ
なたの企業レベルの排出量削減イニシアチブ の実施が促されましたか

はい



いいえ



SC2.2a

企業レベルの排出量削減イニシアチブを 推進した回答要請メン
バーを特定し、 イニシアチブに関する情報を記入してください



SC4へ

注：選択した要請企業ごとの回答。その企業のみが回答を閲覧できます

SC2.1 回答例

(SC2.1) 特定のCDPサプライチェーンメンバーと協力できる、相互に利益のある気候関連プロジェクトを説明してください。

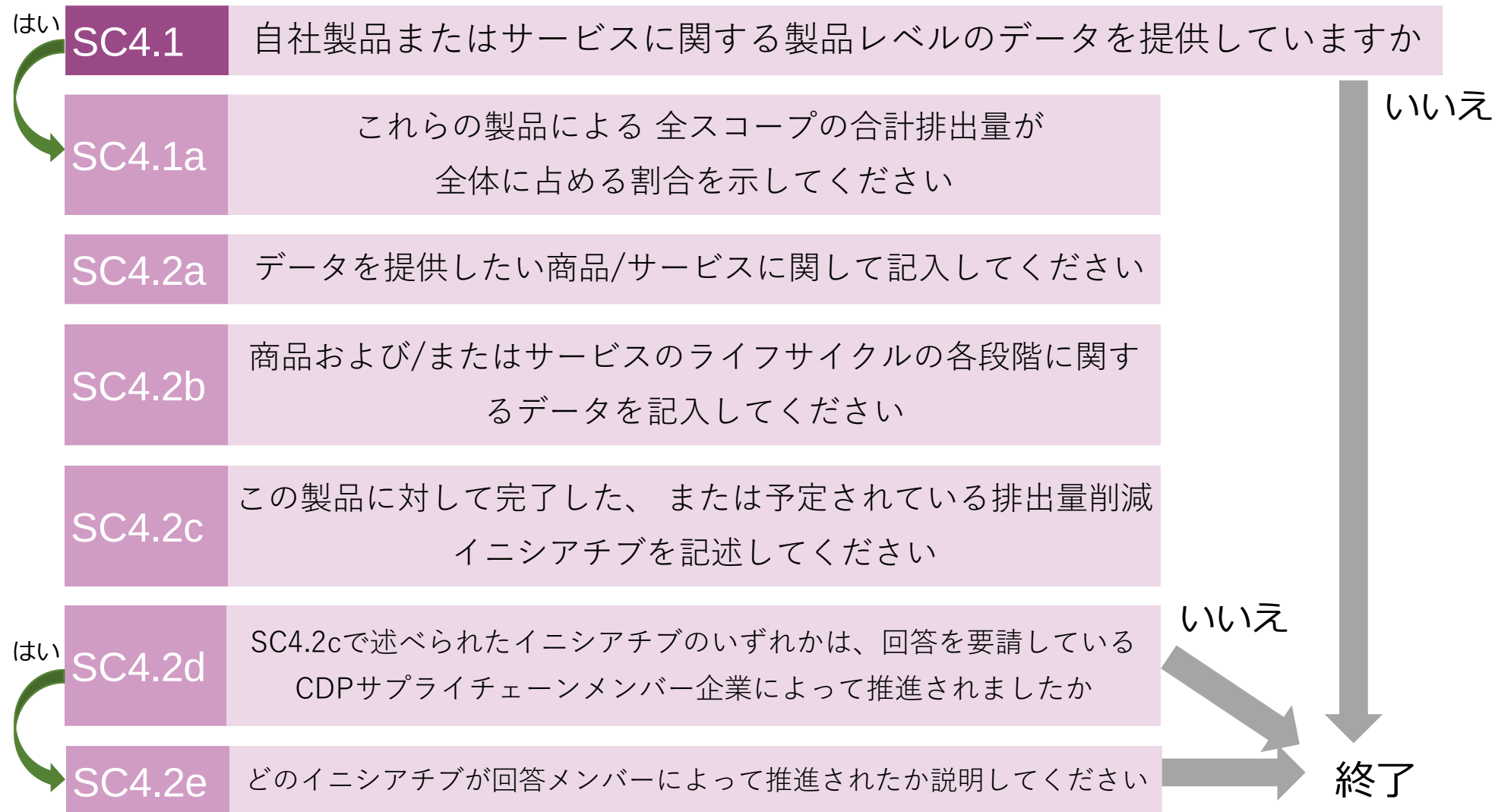
回答メンバー	プロジェクトのグループ分類	プロジェクトの種類	目標とした排出量	炭素削減実現までの推定期間	期間全体の推定CO ₂ 換算削減量	推定対価	提案の詳細
選択肢: [回答メンバーのド ロップダウンメニュー]	選択肢: •物流排出量の削減 •商品およびサービス 提供の変更 •新しい製品または サービス •持続可能性評価の共 同実施 •サプライヤーの操業 への変更 •その他、具体的にお 答えください	左記の選択に基づく 各種選択肢:	選択肢: •顧客の操業上の排出量 (顧客のスコープ1, 2)を 削減する行動 •自社の操業上の排出量 (自身のスコープ1, 2)を 削減する行動 •自社のサプライチェー ンの排出量(自身のス コープ3)を削減する行動 •自社と顧客両方の排出 量を削減する行動 •その他、具体的にお答 えください	選択肢: •0～1年 •1～3年 •3～5年 •その他、具体的にお答 えください 1～3年	数値記入欄 100 (t)	選択肢: •費用/節減額が均等 •0～1年 •1～3年 •3～5年 •その他、具体的にお 答えください 1～3年	文章入力欄 [最大5,000文字] 輸送車両の効率化 を行い、製品納入 の戻り便で支給品 原料の受領を行う ようにするとと ともに、これまで 別々に納入してい た違う事業部向け の製品を同じ車両 でまとめて納入す るよう
A社	物流排出量の削減	混載輸送					

自社と顧客両方の排
出量を削減する行動

サプライチェーンのメンバーと協力して、貴社や要請元メンバー企業の排出量を削減する方法を提案できます。協力を通じて、貴社や取引先の取組みにおいて、相互に有益な変化をもたらす可能性があります。

SC4 製品レベルデータ

製品ごとの排出量データの提供、詳細情報
(回答可能な場合)



その他 サプライチェーンと関連の深い質問 (気候変動質問書 本体部分)

C6 - 排出量データ

(C6.1) 貴社のスコープ1全世界総排出量はCO2換算トンでいくらでしたか。

- ・ 企業(グループ全体)の排出量を報告

(C6.3) 貴社のスコープ2全世界総排出量はCO2換算トンでいくらでしたか。

以下の企業(グループ全体)の排出量を報告。最低限ロケーション基準の報告が必要

- ・ スコープ2、ロケーション基準 *日本国内統一の係数、各国(地域)の係数での算定値*
- ・ スコープ2、マーケット基準 (可能な場合) *購入契約ベースの係数での算定値*

(C6.5) 貴社のスコープ3全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

スコープ3の各カテゴリごとに、以下を回答（カテゴリ1～15、他）

- ・ 評価状況 <選択肢>: 算定済み (関連性あり/なし)、関連性なし、理由の説明、関連性あり、未算定、未評価
- ・ 報告年の排出量(CO2換算トン) 数値回答
- ・ 排出量計算方法 選択肢ベースで算定手法を説明（複数ある場合は複数）
- ・ サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合
：取引先等から得た排出量関連情報を用いて計算した割合を排出量における%値で回答
- ・ 説明してください 排出量計算方法の詳細、算定の範囲や関連情報の記述（または算定していない理由）

C6 - 排出量データ（回答例）

（C6.1）貴社のスコープ1全世界総排出量はCO2換算トンでいくらでしたか。

- ・ 20,000 (t-CO2換算)

（C6.3）貴社のスコープ2全世界総排出量はCO2換算トンでいくらでしたか。

- ・ ロケーション基準 80,000 (t-CO2換算)
- ・ マーケット基準 (可能な場合) 70,000 (t-CO2換算)

（C6.5）貴社のスコープ3全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

＜例： カテゴリ1（調達した製品・サービス）＞

- ・ 評価状況 : 関連性あり、算定済み
- ・ 報告年の排出量(CO2換算トン) : 350,000 (t-CO2換算)
- ・ 排出量計算方法 : ハイブリッド（複合）手法
- ・ サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合 : 30 (%) *サプライヤーから得たデータに基づく排出量が30%、残り(2次データ等)が70%の場合
- ・ 説明してください : 調達における支出額と環境省の2次データとしての原単位を使用して計算したものが245,000トン、サプライヤーから原単位数値を取得して、その加重平均値と購入原料の重量を掛け合わせたものが105,000トンとなり、これらを合計して、当カテゴリの報告値となっている。

C6 - 排出量データ



(C6.10)報告年のスコープ1、2の合計全世界総排出量を、単位通貨総売上あたりのCO2換算トン単位で詳細を説明し、貴社の事業に当てはまる追加の原単位指標を記入してください。

- ▼ 売上高当たりの排出量を把握することで、顧客企業は取引額から貴社取引による排出量の推計が可能です（貴社事業活動に直接由来するもの）
- ▼ まずは売上高(円)あたりでご回答ください
※ 小数点以下の小さな値になりますが、各社共通で使う・比較対象にもなるため、百万円当たり等に数値(分母)を変更しないでください
- ▼ その他の指標(生産量など)による原単位算出も有効な場合は、合わせてご回答ください

1つの回答毎に、以下の情報を入力・選択して回答

回答例：

- 1 原単位数値 数値回答（分子となる値÷分母となる値の計算結果）
- 2 指標の分子(スコープ1,2合算総排出量、CO2換算トン) 数値回答
- 3 指標の分母 売上額合計など、選択肢から回答
- 4 指標の分母：単位当たり総量 数値回答
- 5 使用したスコープ2の値 ロケーション／マーケットの選択
- 6 前年からの変化率 数値回答 (%)
- 7 変化の増減 増加/減少/変化なし、より選択
- 8 変化の理由 選択肢から選択（複数可）
- 9 説明してください 変化の理由に関する具体的記述説明

- 1：0.00002857
- 2：100,000
- 3：売上額合計
- 4：3,500,000,000
- 5：ロケーション基準
- 6：4.5
- 7：減少
- 8：・その他の排出削減活動
・生産量の変化

C7 - 排出量内訳

(C7.7) CDP回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことができますか。

(C7.7a) スコープ1およびスコープ2の総排出量を子会社別に内訳を示してください。

新規質問

C7.7

回答選択肢

選択肢:

- はい
- いいえ
- 子会社がないので関連性なし

- ▶ 子会社(孫会社等含む)を含めた透明性のある排出量の情報公開
 - ▶ 投資家や取引先等の関係者に、各子会社単位でデータ開示することで理解や活用を促す
 - ▶ 多排出の子会社や、顧客との取引・要請のある会社単位で回答が特に重要
- ※ 本年、この設問の合計値について、排出量合計値を報告するC6.1, C6.3との整合性をCDPとして確認・評価はしない

C7.7a

子会社名	主な事業活動	\\	
	選択肢	\\	
	[CDP-ACS活動のリスト]	\\ (一部省略)	
		\\	
スコープ1排出量 (CO ₂ 換算トン)	スコープ2排出量、 ロケーション基準 (CO ₂ 換算トン)	スコープ2排出量、 マーケット基準 (CO ₂ 換算トン)	コメント

* “CDP-ACS活動”
: CDPによる企業の
業種、事業活動の
分類（産業分類）
のこと

要請を受けている子会社等組織の確認



CDP質問書における
対象組織（要請先）
の確認

(例) Japan XX Co., Ltd.
の気候変動質問書

サプライチェーン回答要請元の企業名

Requesting Authority (要請組織)	Authority Type (要請種別)	Date request was added (データ更新日)	Authority email address (要請元Eメール)	Requested organization (要請先企業)
CDP Investor 745+の機関	CDP Investor	2023年4月17日		Japan XX Co., Ltd.
Company S	Supply Chain	2023年4月17日		XX CHINA CO.,LTD.
Company R	Supply Chain	2023年4月17日		XX CHEMICAL UK LTD.
Company B	Supply Chain	2023年4月17日		XX CHEMICAL ENGINEERING
Company A	Supply Chain	2023年4月17日		Japan XX Co., Ltd.
Company I	Supply Chain	2023年4月17日		XX Advanced Technologies

Climate Change 2023

回答提出の意思表示

完了 2023年4月25日

✓

組織詳細を確認済み

完了 2023年4月25日

✓

回答提出先署名機関, 顧客企業 / 機関 (すべての回答要請)

期限 2023年7月26日

質問書を入力 ▶▶

この質問書に回答するよう18企業／機関から要請されています。 ?

詳細情報

<回答ダッシュボード>

回答入力権限のある
アカウントでログイン



[気候変動]の
“すべての回答要請”→
”詳細情報”

(More Information)
をクリック



表形式で要請元及び
要請先企業（貴社あるい
は貴社子会社）
の一覧表示がされる